



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

マルチメディア DAISY研修に参加して

2月3日、4日に日本障害者リハビリテーション協会主催のDAISY研修に参加してきました。

以前からダイジーには興味があり、勢いで参加申し込みをしてしまったものの、研修が始まってすぐ冷や汗が…

DAISYとは、視覚障がい者のための録音テープに代わるものとして開発されたそうです。現在はマルチメディア化することにより、印刷物で提供される図書や情報では読むことが出来ない、または、読むことに困難を感じる人々に利用されています。たとえば、ディスレクシア(読み書き困難)の人が教科書や本を読むときに使ったり、知的障がいの子が興味、関心を持つきっかけに使ったり、自分が住んでいるところの写真などを使った分かりやすい避難マニュアルなど幅広く使われています。最新のDAISY規格は、ITを活用したひとりひとりのニーズに合った「読み」のスタイルを可能にするデジタル図書の国際標準規格として40カ国以上で受け入れられ、教育に大きく貢献しているということです。

私の参加した研修は、このマルチメディアDAISYを製作するという内容のものでした。参加者は20名で、実際にボランティアで教科書を作っている方、財団で読みに障がいを持つ子どもの支援を始めたという方、大学で図書館司書の育成をされている方、区の障害者福祉課や社会福祉協議会の方、そして私たちのようなNPOで活動している人達などいろいろでした。参加のきっかけを作ってくださった鹿沼市立みなみ小学校の先生ももちろん参加されていました。

1日目はマルチメディアDAISYのXHTMLファイルの製



雪が降った翌日の報徳会館、屋根の雪煙を撮っていたら、旧今市市のマークを見つけました。小代から移築したときに取り付けたのでしょうか…

作と音声の録音をやりました。パソコンでメールやインターネットが使えればいいとのことで参加したのですが、始めて聞く単語が多く、意味もなんとなくわかる程度でまるで外国に来たようでした。それでも隣の人にきいたり、先生を呼んだりしてなんとか録音までたどりつきました。

2日目は録音の編集と図書としての仕上げ作業でした。録音したものは、読み間違えていたり、自分の鼻息の音が入っていたり、間があいてしまったりしているので、文章ごとにチェックしカットしたりつなげたりしながら完成させていきます。これに1日の大半を費やしました。時間はかかりましたがこの作業は楽しめました。最後は講師のここを押してここを選んでという指示についていき、自分の声が出てくる図書として完成させました。

2日間かかって製作したマルチメディアDAISYはA4版の紙に印刷すると3枚半の分量でした。この研修に参加するまでは、文章だけ打ち込めば音声と画面の図書が出来上がるのではないかとかってに想像していたのですが、甘かったです。現在、教科書は申請をすればDAISY化されたものを実費程度で手に入れることができます。このような環境になるために頑張ってくださいボランティアの方には本当に頭の下がる想いです。そして、個人的にはもっと簡単に作れるソフトが開発されたらいいなということと、もっと多くの方にDAISYを知ってもらい、読むことが楽に出来るようになる人が増えたらいいなと思います。そして何よりも、教室の中で困っている子どもに届くことを願います。(西尾)

目次

DAISY 研修に参加して	1
霧箱の作り方 (SC・26)	2
活動日誌	3
なんにわ クリスマス会	3
こんな本はいかが? (11)	4



居場所のひとこま

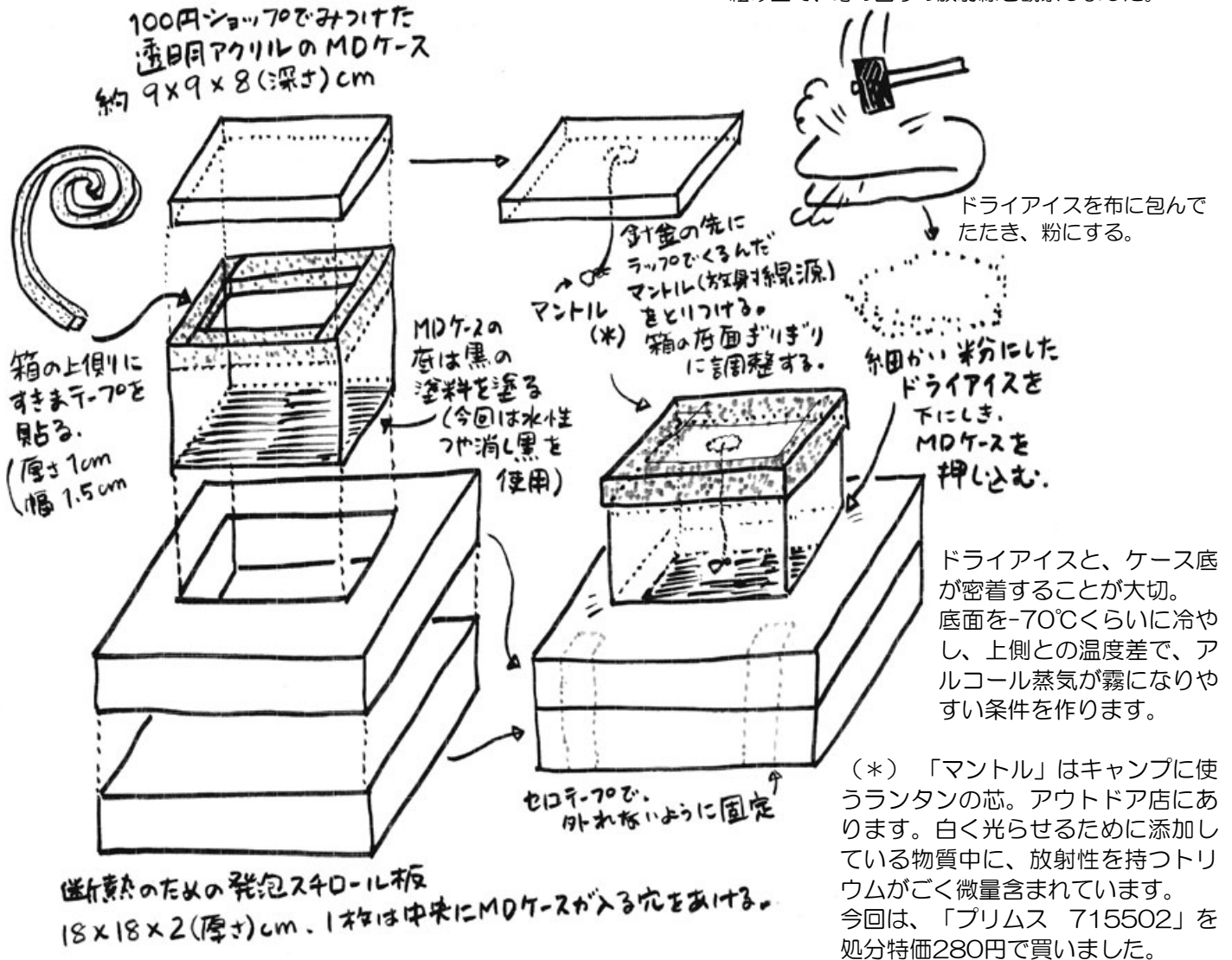
「居場所」入り口近くですっかり凍り付いた木の枝を見つけました。とても寒い日が続いた2月はじめの頃、報徳振興会館屋根の雪が溶け、落ちてきた滴が作った彫刻です。

そんな北風の中でも、部屋は新調したファンヒータのおかげであったか。居場所や学びサポートに集まる子どもたちは、キックボードに雪合戦に元気です。

サイエンス・カフェ26 「霧箱で放射線を見よう」

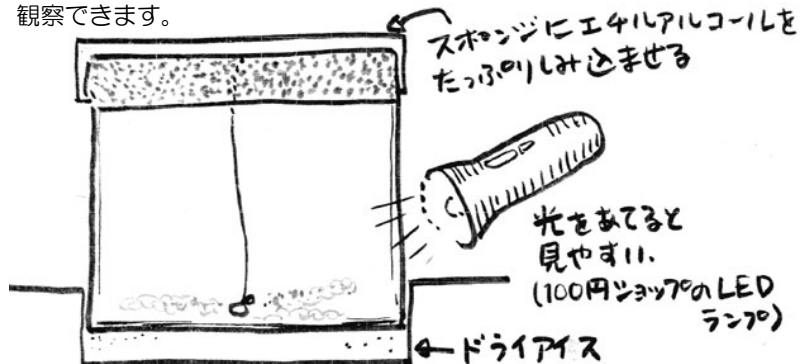
2010年2月20日(土) 7組が参加。全員、放射線の観測に成功!

「霧箱」は19世紀末に発明された放射線を観測するための装置です。素粒子の実験的研究はこの霧箱に始まりました。今回のカフェは、アルコールをドライアイスで冷却して霧を作る簡易型霧箱を組み立て、身の回りの放射線を観察しました。



放射線の観察法 (横から見た図)

アルコールの蒸気が霧になるのが
観察できます。



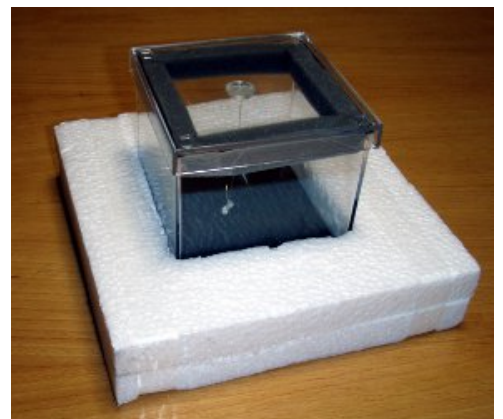
●材料 アクリル製MDケース、すきまテープ、細い針金、マンテル、黒い塗料、発泡スチロール板、エチルアルコール、ドライアイス

●道具その他 セロテープ、カッター、はさみ、懐中電灯、ドライアイスをお粉にする道具(ミキサー、コーヒーミル、ふるい)、軍手(ドライアイスに直接触れないために)

- マンテルから飛び出した放射線の飛んだ跡が、飛行機雲のように見えます。
- ポイントはドライアイスとケース底の密着です。予備実験で、氷屋さんで薄く切ってもらったドライアイスをおのまま置いてみましたが、うまくいきませんでした。たいてい割るなど、徹底的にお粉にして、篩(ふるい：今回は用意しなかった)で大きな固まりを除いてから、使用するのがよいかなと思います。

●材料が若干余っています。作ってみたい方はお分けしますので、ご連絡ください。

(手塚)



☆ 活動日誌

- 11月21日(土) ワカモノ・フェスタ実行委員会
 11月22日(日) ベリー会
 11月27日(金) 通信・なんとなくのひろば 第18号発行
 12月1日(火) ワカモノ・フェスタ実行委員会
 12月5日(土) ワカモノ・フェスタ実行委員会
 12月5日(土) 美術造形教室(第2回)
 12月6日(日) ワカモノ・フェスタ
 12月13日(日) ベリー会
 12月14日(月) 茶話会(第7回) 報徳会館
 12月25日(金) なんにわクリスマス会
 12月28日(月) 発達障がい支援者連絡会(第44回)
 1月9日(土) 第31回 理事会
 1月24日(日) ベリー会
 1月25日(月) 発達障がい支援者連絡会(第45回)
 2月3、4日(水、木) マルチメディアDAISY研修 参加
 2月9日(月) 茶話会(第8回) 報徳会館
 2月9日(月) 鹿沼市立みなみ小学校見学(教室でのDAISY活用を見学)
 2月14日(日) ベリー会、沼尾さん(ライブ)
 講演会(奥山雅久さん、小西勝之さん)
 2月20日(土) サイエンス・カフェ 第26回 「霧箱で放射線を見よう」
 2月22日(月) 発達障がい支援者連絡会(第46回)
 2月27日(土) 美術造形教室(第3回)
 3月6日(土) 第32回 理事会
 3月8日(月) 茶話会(第9回) 報徳会館

発達障がい支援者連絡会

発達障がいを持つ子の親、学校関係者、市民団体等が自由に意見交換を行い、今できることに取り組んでいく集まりです。毎月第4月曜日、午後7時から、日光市民活動支援センターで開いています。どなたでも参加自由の会です。気軽にご参加ください。
 (担当:西尾・白井) 連絡:090-3227-7079

子育て・親育ちの茶話会

場所:今市報徳振興会館
 日時:毎月第2月曜日(午前10時~お昼)
 参加費:300円(お茶代)
 次回は4月12日(月)です。
 同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いましょう。「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に

子育て・親育ち勉強会・4

「うちの子、ちょっと心配?」
 と思ったら

3月13日(土) 午後1時30分より
 会場:日光市中央公民館
 講師:帷子颯二郎さん(市教育委員会)
 参加希望者は電話でご連絡下さい。

なんにわクリスマス会

12月25日、なんにわスタッフ、子どもたちやお客さんでクリスマス会を行いました。

子どもたちが中心となり、ケーキ作り。上手にクリームをつくりました。盛り付けてあっというまに完成! 素晴らしい~!



そしてなにやら…クリスマス+科学という、なんにわならではの催し。電極が付いた木製の箱に、牛乳でといた「ホットケーキの素」を入れ、コードをつないで…一体になにができてくるのか…!?

どんどん、パンがふくらんできました。ちなみにこのパン焼き器は、子どもたちとスタッフで作りました。ついにできあがり。焦げ付きなどはありませんでした。

水分がなくなると自動的に電流が切れるので焦げません。(どうしてでしょうか?) 昔の人はこうやってパンを作っていたとか…。ステンレスに触れていた部分はあまり体によくないらしいので、切り離しました。そして、みんなでおいしくいただきました!

「学びサポート」でも、この道具で「電気パン」を焼いたそうです。(N)



写真上: クリームを盛りつけ。

なかなか手際がよいです。

写真下: 電気パン、100ボルトをかける。

電流をチェックしています。1.57アンペア。木の箱は手作りです。

サイエンス・カフェ 予告

4月24日(土)「杉並木の植生」 午後7時30分~(市民活動支援センター)

講師:駒倉政夫さん(今市の自然を知る会)

5月下旬の土曜日「川むしたんけん隊」午前10時~(場所未定)

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒321-1261 日光市今市378
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631
E-mail: info@nantonakuno.net
ホームページもご覧ください。
<http://www.nantonakuno.net/>



ここにここにっこう！ 日光市子育て支援 HP
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

こんな本はいかが？ その11

◆ 2、3、4歳で出会ってほしい本

【**ノタン ぶらんこのせて**】おおもやすおみ・さちこ作・絵(偕成社)
ノタンの本は子どもたちに大人気の本です。

「ノタンあそぼうよ」というシリーズになっています。

【**ぐりとぐら**】中川李枝子 文、山脇百合子 絵(福音館書店)

のねずみのぐりとぐらが出てくるかわいいお話です。

「ぐりとぐら」のシリーズは他にも「ぐりとぐらのおきゃくさま」「ぐりとぐらのかいすいよく」「ぐりとぐらの1ねんかん」など多数あります。

◆ 4、5、6歳で出会ってほしい本

【**14ひきのおつきみ**】いわむらかずお作(童心社)

おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさん、そして10ひきの子ども、合わせて14ひきのねずみの家族のお話です。

とにかく心温まる家族なんです。

これも14ひきのシリーズとして多数出ています。

【**きよだいな きよだいな**】長谷川撰子 作、振矢なな 絵(福音館書店)

「あったとさ あったとさ・・・」ではじまるこのお話。言葉のリズムが楽しい絵本です。思わずふしをつけたくなってしまうかも・・・。

◆ 6、7、8歳で出会ってほしい本

【**やさいのおなか**】きうちかつ さく・え(福音館書店)

野菜の切り口っておもしろいものです。野菜の切り口を見せて、「これなあに」の文字。

大人にとっても「えっ？」と考え込む野菜もありますよ。

【**わすれられないおくりもの**】スーザン・バーレイ作・絵(評論社)

誰からも慕われていたアナグマが年をとって死んでしまいます。

残されたみんながどんなふう悲しみを乗り越えていくのか・・・親子で読んでほしい一冊です。
(白井)

私たちの活動目的：

日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

会員について

正会員：45

賛助会員：17

団体会員：3

入会金はありません。

年会費(一口)：正会員3,000円

賛助会員 個人5,000円、団体10,000円



「なんにわ」活動の約3割は会費でまかなわれています。会員の継続をよろしくお願いいたします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いします。

なんとなくのへや

早いもので、2005年2月4日の創刊号発行から5年目が過ぎました。第19号をお届けします。2月発行予定が、3月に延びてしまいました。発行の遅れをお詫びします。次回、第20号の発行は5月。通常総会の頃になります。■先日、名古屋に一泊する機会がありました。用事が済んで、やれやれとホテルに戻ると、部屋の案内に「インターネット無料」とあり、机にネットワークケーブルがセットされていました。「ひろば」が編集中だったのを思い出し、ネットにつないで編集中のファイルをダウンロード。数ページ、編集を終えて、PDFに変換し、Nさんにメールでチェックを依頼したのは夜も更けた頃■そういえば、このホテルもインターネットで探して、手頃な値段で確保できた。パソコンを持ってこなければ荷物も軽いだけけれど、そもいかない■ネットがつながるのは、どこでも仕事ができるということ、それはほんとうにいいことなのかなあと、ビジネスホテルのお風呂でちょっと考えこんでしまいました。(T)